

1. 団体の概要

パルシックは災害・紛争などで困難に陥った人びとが尊厳のある暮らしを取り戻すのを支え、対等な関係づくりを目指す国際協力NGOです。

能登半島地震では、発災直後から能登入りし物資配布、サロン活動、家電購入支援などを行い、現在は能登町を拠点に常設の居場所作りの場「なごみ」でカフェの運営、ワークショップやイベント、子ども食堂の開催を行っています。

また、外部と能登町をつなぐ関係人口の創出を目的に、ボランティアや視察の受け入れをとおして企業、学校、個人などに働きかけ、能登町に人を呼び込む活動を行っています。

2. 活動対象となる地域

- ・能登町七見にある居場所作りの場「なごみ」を拠点に活動します。なお、2027年4月以降は、拠点の変更（能登町内）を検討しています。
- ・外部調整にかかる活動では、能登町をふくむ能登全域を活動対象とします。

3. 地域の現状と課題

能登半島地震から2年半が経過し、建物や道路の復旧が進む一方で、住まいの移動や集会所の被災等により、長年育まれてきた地域コミュニティの希薄化が深刻な課題となっています。復興フェーズが移り変わる中、住民一人ひとりが抱える孤立感や不安はより複雑化し、寄り添い話を聞く存在や、日常的に集える「心の拠り所」がこれまで以上に求められています。

また、元々進んでいた過疎・高齢化に加え、支援団体の撤退や人口流出に伴い、地域の活力をどう維持していくかが問われています。こうした状況を打開するためには、ただ元に戻すだけでなく、外部から新しい風（人やアイデア）を呼び込み、能登町の魅力を再発見しながら、持続可能な地域社会を再構築していく新しい仕組みづくりが不可欠です。

4. 地域・課題に対するこれまでの取組

・当団体では2025年2月、誰もが気軽に立ち寄れる常設の居場所「なごみ」をオープンしました。これまでに延べ約9,000名にご利用いただき、毎月1回開催する子ども食堂には毎回100名を超える地域住民が参加されています。「毎月の開催が楽しみ」「ここで友人とお茶をする時間が好き」といった声も増え、地域の方々の新たな日常の場として着実に定着してきました。

・外部人材の呼び込みとして、これまでに約130名のボランティアや視察団を受け入れてきました。参加した若い世代からは「能登の人の温かさや自然の美しさに触れ、自分の将来に生かしたいと思った」「また能登を訪れたい」という声が寄せられ、単発の支援にとどまらない「能登のファン（関係人口）」が生まれ始めています。

5. 協力隊に期待すること

地域の方が楽しく癒される時間を過ごせるアイデアの実行と、能登町と全国を繋ぐファンづくりの企画の2つの軸で力を発揮していただくことを期待しています。

具体的には、住民一人ひとりに寄り添い、対等な関係を築きながら、ワークショップや交流イベント、クラブ活動など、地域がパッと明るくなるような企画にどんどんチャレンジしてください。

また、外部の視点だからこそ気づく「能登町や能登の日常の美しさや温かさ」を切り取り、大学や他地域の団体と連携したスタディツアーや継続的な訪問プログラムを企画・発信していただきたいと考えています。あなたの得意なことや関心（食、アート、スポーツ、広報など）を活かした新しい挑戦をバックアップします！

6. 協力隊に求める活動内容

【1年目】

「なごみ」の日常運営に携わり、地域住民と信頼関係を築くと同時に外部調整業務を行い、自身で能登町の魅力を発見しながら業務の土台を作ります。具体的な業務は以下のとおりです。

○カフェ運営：住民との交流、開店・閉店作業、会計処理、買い出し、厨房業務補助、清掃、告知・報告書・アンケート等広報業務。

○ワークショップ、サロン活動等：企画、関係者との調整、開催およびサポート、告知・報告書等広報業務。

○ボランティア・視察受け入れ：企画、関係者との調整、アテンド・サポート、広報業務

【2年目】

地元スタッフに引き継がれた子ども食堂の運営サポートや地域サロン活動（お茶会などのイベントやワークショップの開催）に従事しながら、地域の困りごとや行事を把握し、大学等と連携した外部人材呼び込みプログラムの企画を立ち上げ、実践に移します。

【3年目】

隊員が退任した後も地域の居場所や外部から呼び込むプログラムが持続可能な形で回る仕組みを構築し、活動後は活動で得た知見や人脈を生かし、起業や自身にあった仕事に就く準備を開始します。

7. 期待する地域の変化

隊員の活動を通じて、能登町において以下の変化が生まれることを目指します。

- ・ より多くの地域住民が居場所やイベント、サロン活動に参加し、日常的に笑顔や会話が生まれ、住民同士が互いに気遣いあい、つながりが強化されること。また、地域住民を巻き込む形で隊員が企画したイベントの準備などを行うことで、地域に主体的な賑わいと前向きな活気が取り戻っていること。
- ・ 多くの方が能登町を訪れ、地域の行事や困りごとを手伝う人々が増え、さらに一度訪れた人が継続して能登町で地域活動を共にすることで「にぎやかな過疎」を実現していること。

8. 協力隊をフォローする人や団体

- ・ パルシック職員（能登駐在、東京事務所）
- ・ 能登町役場ふるさと振興課

9. 協力隊退任後の展望

退任後は、隊員による起業（外部人材の呼び込み等の経験を生かした旅行業やガイド業等）を想定していますが、3年間の能登での経験とご自分の興味関心に基づき、進路を決めていただくこととなります。

または、地域住民と信頼関係を築く中でいくつかの仕事を兼任するフリーランスとなることを想定しています。

10. 必要な資格等 ※募集要項に定めるもの以外

- ・ SNS等による情報発信ができる方

11. 勤務条件・待遇

○雇用形態：契約職員（パルシックとの直接雇用）

○勤務日数：週5日勤務（週40時間、日・月・祝日が休日、勤務5日間のうち1日は、地域活動への参加やコネクション作りを業務とする。）

○勤務時間：9:00～18:00（休憩1時間、実働8時間）

○勤務地：能登町七見（能登町内で拠点の移転の可能性あり）および能登全域

○報酬：月額22万円～28万円程度 ※年齢、経験に応じて決定

○社会保険等：健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険へ加入

○その他待遇：住居（団体が手配する賃貸）、車両費、燃油代支給、パソコン・携帯電話を貸与